

外来リハビリテーション

当院の外来を受診し、医師によりリハビリテーションが必要と判断された場合、リハビリテーションが処方されます。各療法士が患者様一人一人の症状に合わせたリハビリテーションプログラムを立て、実施しています。

【理学療法・作業療法】

当院では様々な症状に対して、リハビリテーションを行っております。特に多い疾患としては以下のものがあります。

内科

- ・脳梗塞、脳出血
- ・パーキンソン病 など

整形外科

- ・変形性関節症(首、股関節、膝)
- ・五十肩(肩関節周囲炎)
- ・脊椎管狭窄症、椎間板ヘルニア
- ・骨折、靭帯損傷、腱断裂 など



その他

- ・脊髄疾患
- ・関節リウマチ など

(主な訓練・機器)



バイブラス

水治療では、手足の骨折の患者様に対して渦流浴(バイブラス)にて治療をおこなっています



ホットパック

皮膚や末梢血管を温め、循環の改善や頭痛の軽減、リラクゼーションの効果があります。



マイクロ波治療器(極超短波療法)

ホットパックより深層を温めます。関節リウマチや肩関節周囲炎に効果的です。



牽引療法(頸部・腰部)

軟部組織のストレッチや椎間関節の拡大を目的に、頸部・腰部を機会の力で引っ張ります。



指先の細かい動作に関しては、療法士の訓練と並行して折り紙や手芸を用いて実際場面での使用方法を練習します。



手や足の麻痺等により運動が困難となった方に対して、療法士がマンツーマンで訓練をおこないます。

裏面も有ります

外来リハビリテーション

【言語聴覚療法】

失語症、構音障害、高次脳機能障害(記憶障害、注意障害等)などによりコミュニケーション障害を生じている患者様に対して外来リハビリテーションをおこなっております。また、嚥下(飲み込み)障害を生じている患者様にも外来リハビリテーションをおこなっております。



【嚥下機能に対する訓練】

脳卒中の後遺症により、食べる機能に問題が生じる場合がありますが、症状もそれぞれ違います。そこで誤嚥を防止し、いかに安全に食事を摂ることができるかが、摂食・嚥下訓練の目的となります。
当院では適切な評価の後、他のリハスタッフや病棟とも連携しながら訓練を進めます。
また、嚥下造影検査なども必要に応じて実施しています。

【構音障害に対する訓練】

声が出にくい、発音が難しいといった症状にも様々な原因があります。したがって”やみくもに”頑張るって声を出すといった練習がよい結果に結びつくはずがありません。
当院では、様々な側面から評価し、症状を分析することで、その方に最適と考えられる訓練を提供します。

【失語症に対する訓練】

一旦正常に獲得された言語機能が混乱してしまう状態にあり、言葉を失ってしまうわけではありません。
当院では、認知神経心理学的に症状を分析し、訓練プログラムを立案、実施しています。

【医師の診察日】

AM(9:00~12:00) PM(14:00~17:00)	月	火	水	木	金	土
内科・その他	AM○ PM○	AM○ PM○	AM○ PM○	AM○ PM○	AM○ PM○	AM○ PM○
整形外科		PM○	AM○			

※リハ実施日 月～金 (AM)9:00～12:00
(PM)14:00～17:00



***** お問い合わせ*****

ふれあい東戸塚ホスピタル
横浜市戸塚区上品濃16-8
TEL:045-827-2637

<http://www.fureai-g.or.jp/ht-hosp/>

(無料シャトルバス運行中)

